

監査報告書

令和7年5月27日

社会福祉法人 恩陽会
理事長 名城 道一 殿

監事 新垣 喜春 

監事 儀間 敏光 

私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの令和6年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

(3) 社会福祉法人制度改正後の法人運営等が正しく執行されていました。

(4) 有限会社ニューラッキーランドリーとの単価交渉について、令和6年度障害福祉サービス等報酬改定が令和6年4月より施行され、スコア表の大幅な改正により試算したが赤字と見込まれた。今後、赤字が続くと恩陽会が就労継続支援A型事業所としての存続が危ぶまれることから、緊急に会議が行なわれて、就労支援事業部門を黒字にするために、商品単価を大幅に引き上げていただいている。結果、本決算では就労支援事業で欠乏の黒字となった。次年度以降も黒字となるように、恩陽会も経費削減など自助努力も行い双方がプラスとなるよう適正な価格を維持できるよう努めて下さい。

(5) 障害福祉サービス事業の評価において、利用者の個別支援計画の作成について、令和7年度もサービス管理責任者及び職員全員で協力してレベルアップを図り、利用者の意向、障害の特性その他の事情を踏まえた計画を作成するよう努めて下さい。

(6) 本格的な生産体制に向けて、今年度の機械設備等の投資による生産性の相乗効果が期待できる。次年度も引き続き売上高の増加を目指して、従業員の人材育成と賃金等処遇の改善にも努めて、更なる業務の効率化に努めて下さい。

以 上